

●台風時の無線配車で外部待機は無くしてください。(5846宮坂氏)

●(執行部) 会社は公式的にはOKを出しません。現場で判断をしてください。

●傘と毛ばたきを支給して下さい。黄色は傘が支給されません。(5846宮坂氏)

●(執行部) 毛ばたきは支給されます。傘は支給されなければ要求します。

●50分以上先の、スマホの「必着配車」はおかしくありませんか？(5184廣島氏)

●(執行部) 確かにおかしい配車です。ネット決済の自分のミスでない者は、乗務員が立て替えないで、会社が負担して下さい。(2648齊藤氏)

●(執行部) ミスでないものは、負担させないように申し入れますが、乗務員も精算が完了していないお客様を降車させないように注意して下さい。

●夜間当直者は会社方針で意思統一をしてもらいたい。(5530児島氏)

●(執行部) 申し入れます。

●国際的裁判と同様に、東洋の能率給の残業時の腰高の変更は違法ではないのか、調査をしてもらいたい。(5294石田氏)

●(執行部) 執行部は東洋交通の賃金協定は違法ではないと判断していますが、協定書については顧問弁護士に聞いて、中央委員会で報



告します。

●残業時間が違っており、残業時間が実際より多くなっていたので、修正したら7000円以上返金されました。皆が損していたら問題です。(5776小林氏)

●(執行部) 残業時間が違う事と、返金の根拠については調査します。

他にもたくさんの方の意見が出ましたが、2017秋闘に関する事以外については、今後の労使協議会や安全衛生委員会です。

### 『日交グループ連絡協議会による無線センターの見学と意見交換の報告』

続いて福島書記長より、8月10日に行われた無線センターとの意見交換について報告がありました。21項目中17項目については、前回の躍進14号で報告しましたが、「無線の不具合は解消されてきたが、40名のスタッフは派遣やアルバイトがほとんどで、教育やマニュアルの徹底はまだできていない」「現場で起きたことは随時報告を上げて欲しい」等、無線センターにおいては課題

が山積みな状況です。今後も意見交換できるように申し入れ、現場の声を届けていきます。

最近では多くの組合員が明番集会に参加し、たくさんの方の意見が出るようになりました。

その中でも無線についての意見が多く、まだまだ現場では乗務員が気持ち良く働ける環境ではなく、P無線と無線センターの対応に改善を求める声が多くありました。



### 2016年秋季闘争 要求書を経営側に提出

9月7日(水)9時半、本社101号室において労使協議会が行われました。執行部からは菊池執行委員長をはじめ6名が出席、経営側からは仲取締役・深沢次長・志鎌課長が出席しました。

菊池執行委員長より「2014年の労使協議会の確認事項を延期や反故にし、また要求を無視し誠意ある協議も行っていない経営側の姿勢に対し、今年度は労使協議会での話し合いではなく、秋季闘争要求として賃金・労働条件を改善し、安全・安心な運行を確保するために実現を求めると、要求書を読み上げられ経営側に手渡されました。

施設については、15台の増車において乗務員が増える為、更衣室・仮眠室の確保を早急に行うことや、全てのトイレにウォッシュレットを設置することを本社移転後に行うと約束されたが、まだ行われていないので早急に行うよう申し入れました。

今後、賃金・労働条件についての具体的な交渉は数回行う予定となっており、11月30日(水)までに経営側が回答することを確認しました。

### 連合東京

### 『2016男女平等セミナー』に参加

女性が活躍できる職場にするために 労働組合としての取り組みを学ぶ！

2016年9月13日(火)14時、港区の田町交通ビル5Fにおいて全自交東京地連が加盟している連合東京開催の『2016男女平等セミナー』に参加しました。男女平等委員会の幹事である菊池執行委員長をはじめ、執行部から6名・今回はフットサル部から岡田氏・但木氏にも参加していただきました。

最初に「東京都女性活躍推進白書」について吉村幸子氏(東京都生活文化局男女平等参画担当)が、東京都で働く女性の現状と課題について、「東京都で働く女性は労働時間が長く管理職につく比率が国際的にみて極めて低い。また平均の帰宅時間も全国で最も遅く、家事や育児の役割も女性が7割近いという中で、女性が活躍できる環境をつくる為在宅勤務やイクメンサミットなどの取り組みを行う」と講義しました。

続いて、小嶋美代子氏(株)日立ソリューションズダイバーシティ推進センター長)は、ダイバーシティ(多様性)尊重し、一人ひとりの違いを価値につなげる取り組みを行う為に男性の育児休業取得や女性社員の意識啓発に力を入れ、海外研修・復職支援セミナーなどを開催していると講義しました。次に、関崎陽子氏(UAゼンセン東京、マリイグループユニオン副委員長)より、企業の中でも女性比率が高い丸井での労働組合としての取り組み、課題について「オフサイドミーティングで女性社員とコミュニケーションを取り、長時間労働になりやすい部署での偏りを調査し改善を求めると、38支部ある組合のうち女性の委員長は2名しかない。産休から復職する組合員に対して面談をし、労働者の義務を果たすことを理解させることで責任感を持ち、周りに負担のない環境を作っている」と講義しました。